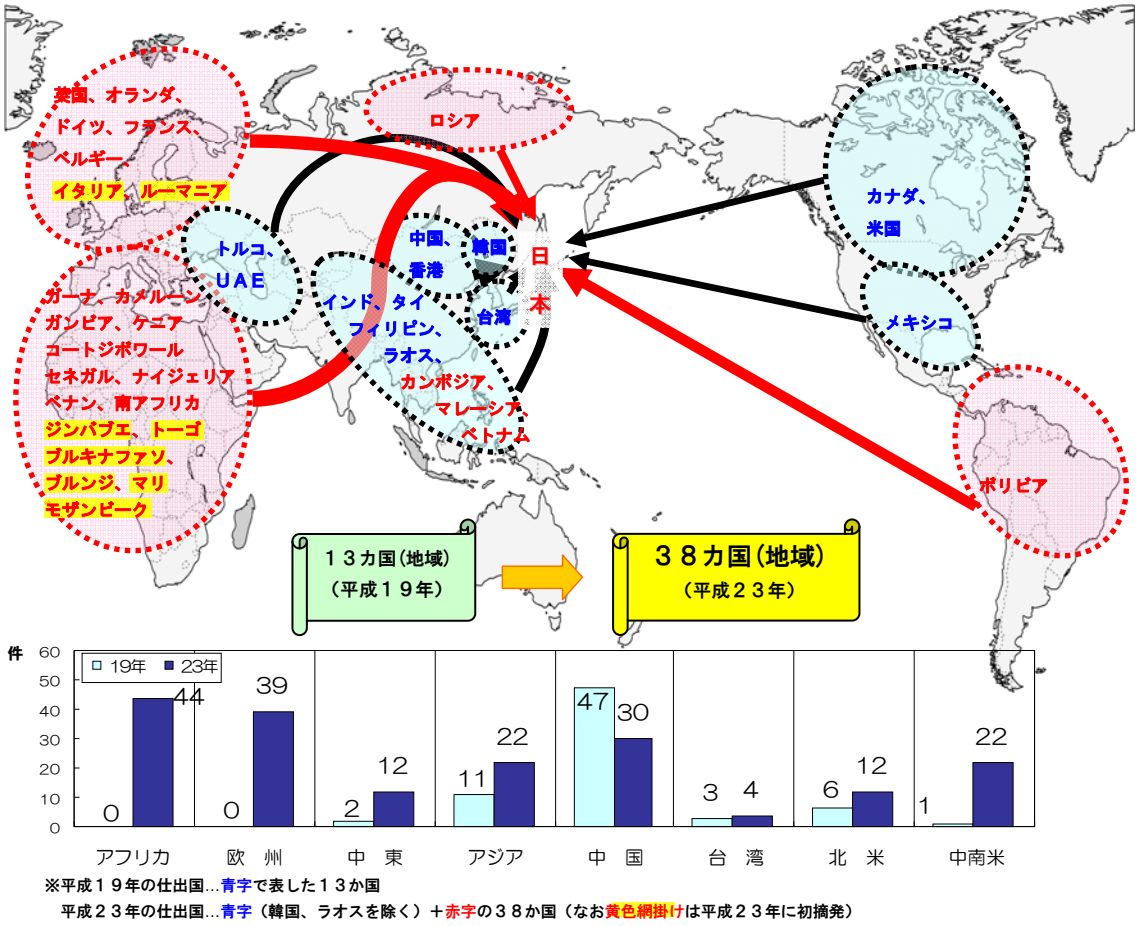
覚醒剤の密輸ルートの広範化

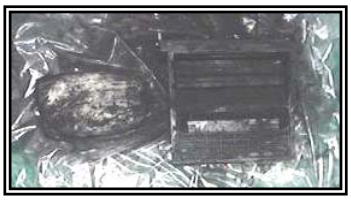
◆　アフリカ、欧州仕出しの急増



※平成１９年の仕出国…青字で表した１３か国
平成２３年の仕出国…青字（韓国、ラオスを除く）＋赤字の３８か国（なお黄色網掛けは平成２３年に初摘発）

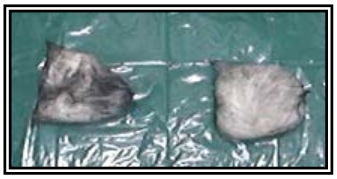
（事例５）

アフリカ来の航空機旅客による覚醒剤密輸入事犯を摘発



平成２３年１月、カメルーンから到着したポルトガル人男性の携帯品検査において、トナーカートリッジ内に隠匿していた

覚醒剤　約１kg



を発見、摘発した。

関税局・税関の取組

○ 情報交換の促進

有効な情報を収集・活用していくために、外国税関当局や国内関係機関との情報交換を促進。

○ 検査機器の活用

Ｘ線検査装置をはじめとする取締・検査機器について、配備換えなどにより有効活用を図った。

○ 関係機関との連携強化

水際取締強化を図るため、関係機関との合同捜査を実施。

○ 制度の整備

航空機旅客について、税関が現在入手している事前旅客情報に加え、予約情報等も入手できるように、報告を求める情報の範囲を拡充。

○ 税関相互支援協定等を活用した外国税関当局等との情報交換を促進

我が国税関と外国税関当局との間において交換する情報について、双方において刑事手続に使用することができるよう制度を整備。

外国税関当局との間で、薬物等の密輸に関する情報交換を含む協力を促進する二国間税関相互支援協定等の締結に向けた取組を推進。